安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : RNAscope™ 2.5 Universal Pretreatment Reagents
製品番号 : 322380 （メーカー略号: ADC）
構成品名 : RNAscope™ Hydrogen Peroxide (#322335)
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品法務部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性
急性毒性（吸入）：区分 4
皮膚腐食性/刺激性：区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 1
発がん性：区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2（呼吸器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 2（呼吸器）
環境有害性
水生環境有害性 短期(急性)：区分 2
GHSラベル要素

注意喚起語：危険
危険有害性情報
吸入すると有害
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
発がんのおそれの疑い
臓器の障害のおそれ（呼吸器）
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）
水生生物に毒性
注意書き
安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
環境への放出を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵
施錠して保管すること。

廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
過酸化水素	5	7722-84-1	1-419

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分
過酸化水素

安衛法「通知すべき有害物」該当成分
過酸化水素

4. 応急措置

吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。
直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合
水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護
救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。
適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項
腐食性/刺激性製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
毒性・発がん性を有する製品。医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤
周辺設備に適した消火剤を使用する。この製品自体は燃焼しない。

使ってはならない消火剤
棒状放水
特有の危険有害性
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置
特有の消火方法
霧状水により容器を冷却する。
消火水の下水への流入を防ぐ。
消火を行う者の保護
消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
区域より退避させる。
漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
環境に対する注意事項
環境中に放出してはならない。
下水、排水中に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材
不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
可燃性物質（紙、おがくず）に吸収させてはならない。汚染箇所は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策
（取扱者のばく露防止）
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
皮膚や眼との接触を避けること。
安全取扱注意事項
使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
保護手袋/保護衣/保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
接触回避
「10. 安定性及び反応性」を参照。
衛生対策
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
（製品が付着した衣類は放置せず、すぐに洗い流すか水に浸漬する。）
保管
安全な保管条件
施錠して保管すること。4℃で保存すること。
涼しく換気のよい場所に保管すること。開封後は直立させて保存すること。
異物混入を防止すること。可燃性物質、金属から離して保管する。
安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値 ： データなし

許容濃度

（過酸化水素）

ACGIH(1996) TWA: 1ppm (眼, 上気道及び皮膚刺激)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

不浸透性、耐薬品性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 ： 液体

色 ： 透明

臭い ： データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 ： データなし

可燃性（ガス、液体及び固体） ： データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 ： データなし

引火点 ： データなし

自然発火点 ： データなし

分解温度 ： データなし

pH ： データなし

動粘性率 ： データなし

蒸気圧 ： データなし

密度及び/又は相対密度 ： データなし

相対ガス密度(空気=1) ： データなし

粒子特性 ： 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

熱、火気

混触危険物質

真鍮、銅、金属粉末、鉄および鉄塩、可燃物

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性
急性毒性(経口)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
rat LD50=805mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)
急性毒性(経皮)
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
rabbit LD50=690mg/kg (DFGOT vol.26, 2011)
急性毒性(吸入)
[製品]
区分 4, 吸入すると有害
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
mist: mouse LC50=0.46-1.00mg/L/4hr (DFGOT vol.26, 2011)
vapor: rat LC50=1438ppmV/4hr (DFGOT vol.26, 2011)
労働基準法:疾病化学物質
過酸化水素
局所効果
皮膚腐食性/刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
ラビット 腐食性 (EU-RAR, 2003 et al)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[製品]
区分 1, 重篤な眼の損傷
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
動物 腐食性 (EU-RAR, 2003)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[製品]
区分 2, 発がんのおそれの疑い
[成分データ]
[日本公表根拠データ]
(過酸化水素)
cat.2; ACGIH A3 (ACGIH 7th, 2001)
[IARC]
(過酸化水素)
Group 3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
[ACGIH]
(過酸化水素)
A3(1996) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
催奇形性 : データなし

生殖毒性 ： データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
（過酸化水素）
呼吸器 (ACGIH, 2001; EU-RAR, 2003)
特定標的臓器毒性（反復ばく露）
[製品]
区分 2, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[区分1]
[日本公表根拠データ]
（過酸化水素）
呼吸器 (EU-RAR, 2003)
誤えん有害性 ： データなし
その他の情報 ： この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[製品]
区分 2, 水生生物に毒性
[成分データ]
水生環境有害性　短期(急性)
[日本公表根拠データ]
（過酸化水素）
藻類 (ニッチア) EC50=0.85mg/L/72hr (EURAR, 2003)
水溶解度
（過酸化水素）
混和する (ICSC, 2000)
残留性・分解性
[成分データ]
（過酸化水素）
急速分解性あり (EU-RAR, 2003)
生体蓄積性
[成分データ]
（過酸化水素）
log Pow=-1.36 (ICSC, 2000)
土壌中の移動性 ： データなし
オゾン層への有害性 ： データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
環境への放出を避けること。
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
製品入り容器と同様に処分する。地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 ： 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 ： 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 ： 非該当
労働安全衛生法
　名称等を表示すべき危険/有害物
　　過酸化水素(別表第9の126)
　名称等を通知すべき危険/有害物
　　過酸化水素(別表第9の126)
　皮膚等障害化学物質（規則第594条の2）
　　過酸化水素
化学物質管理促進(PRTR)法 ： 非該当
消防法 ： 非該当
化審法 ： 非該当
水質汚濁防止法
　指定物質
　　過酸化水素
　　法令番号 4

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
2024 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : RNAscope™ 2.5 Universal Pretreatment Reagents
製品番号 : 322380 （メーカー略号: ADC）
構成品名 : ①RNAscope™ Protease Plus (#322331)
②RNAscope™ Protease IV (#322336)
③RNAscope™ Protease III (#322337)
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品法務部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類
健康に対する有害性
皮膚感作性：区分 1
GHSラベル要素

注意喚起語：警告
危険有害性情報
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
注意書き
安全対策
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
保護手袋を着用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
応急措置
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 : ≤ 0.0025% Mixture of 5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one and 2-Methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1) (CAS RN®: 55965-84-9)（①）、
< 1% プロピレングリコール(CAS RN®: 57-55-6),
Mixture of 5-Chloro-2-methyl-4-isothiazolin-3-one and 2-Methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1)（②、③）

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。
危険有害成分
毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。医療者の指示なく吐かせない。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を施す。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡、炭酸ガス、粉末消火剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

保護手袋を着用すること。

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

4℃で保存すること。直射日光を避け、容器を密閉し涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値 : データなし

許容濃度 : データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。(耐薬品性)

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 透明

臭い : ほぼ無臭

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

動粘性率 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度及び/又は相対密度 : データなし

相対ガス密度(空気=1) : データなし

粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

推奨される輸送または保管条件下で安定である。

化学的安定性

通常の取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。分解が発生するおそれがある。

避けるべき条件
　直射日光、熱
混触危険物質
　強酸、強アルカリ、強酸化性物質、強還元性物質
危険有害な分解生成物
　データなし

11. 有害性情報

急性毒性
　急性毒性（経口）
　　[成分データ]
　　[日本公表根拠データ]
　　(プロピレングリコール)
　　rat LD50=8000-46000mg/kg (EPA Pesticide, 2006)
　急性毒性（経皮）
　　[成分データ]
　　[日本公表根拠データ]
　　(プロピレングリコール)
　　rabbit LD50=20800 mg/kg (SIDS, 2004)
局所効果
　皮膚腐食性/刺激性 : データなし
　眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性
　皮膚感作性
　　[製品]
　　区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性
　特定標的臓器毒性（単回ばく露）
　　[成分データ]
　　[区分3(麻酔作用)]
　　[日本公表根拠データ]
　　(プロピレングリコール)
　　麻酔作用 (ATSDR addendum, 2008; SIDS, 2004)
　特定標的臓器毒性（反復ばく露）: データなし
誤えん有害性 : データなし
その他の情報 : この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
　[成分データ]
　水生環境有害性　短期(急性)
　　[日本公表根拠データ]
　　(プロピレングリコール)
　　甲殻類 (オオミジンコ) EC50(遊泳阻害)>1000mg/L/48hr (環境省生態影響試験, 2018)
　水生環境有害性　長期(慢性)
　　[日本公表根拠データ]
　　(プロピレングリコール)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC(繁殖阻害)=1000mg/L/21days (環境省生態影響試験, 2018)
水溶解度
(プロピレングリコール)
混和する (ICSC, 2014)
残留性・分解性
[成分データ]
(プロピレングリコール)
急速分解性あり (BODによる分解度：90% (化審法DB: 1991))
生体蓄積性
[成分データ]
(プロピレングリコール)
log Pow=−0.92 (ICSC, 2014)
土壌中の移動性 ： データなし
オゾン層への有害性 ： データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 ： 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害でない物質(OS類) プロピレングリコール

国内規制がある場合の規制情報 ： 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 ： 非該当
労働安全衛生法 ： 非該当
化学物質管理促進(PRTR)法 ： 非該当
消防法 ： 非該当
化審法 ： 非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
Supplier's data/information
ICSC　国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取

扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : RNAscope™ 2.5 Universal Pretreatment Reagents
製品番号 : 322380 （メーカー略号: ADC）
構成品名 : RNAscope™ Target Retrieval Reagents(#322001)
会 社 名 : コスモ・バイオ株式会社
住　　所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品法務部
電話番号 : 03-5632-9610　FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

GHSラベル要素

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 : 非公開

危険有害成分

毒物及び劇物取締法，安衛法「表示、通知すべき有害物」，化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。医療者の指示なく吐かせない。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
汚染箇所を多量の水で完全に浄化する。（下水道を汚染しないこと。）

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

（取扱者のばく露防止）

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

常温で保存すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値 ： データなし
許容濃度 ： データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 ： 液体
色 ： データなし

臭い : ほぼ無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
可燃性(ガス、液体及び固体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
動粘性率 : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : データなし
粒子特性 : 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
　データなし
化学的安定性
　通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
　通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。分解が発生するおそれがある。
避けるべき条件
　熱
混触危険物質
　強酸、強アルカリ、強酸化性物質、強還元性物質
危険有害な分解生成物
　データなし

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
局所効果
　皮膚腐食性/刺激性: データなし
　眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
催奇形性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性
　特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
　特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
誤えん有害性 : データなし
潜在的な健康への影響 : 吸入や接触、摂取により皮膚、眼、呼吸器系に刺激のおそれがある。
その他の情報 : この製品・物質の化学的、物理的、および毒物学的特性は未だ完全に調査されていない。

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 ： 非該当

注意事項　輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

国内規制がある場合の規制情報 ： 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 ： 非該当

労働安全衛生法 ： 非該当

化学物質管理促進(PRTR)法 ： 非該当

消防法 ： 非該当

化審法 ： 非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。